

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2017

2月号
vol.607

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



特集

いよいよ来月開催!

中小企業経営者フォーラム

21世紀型
自立型
企業づくり

福岡の食文化を世界中に発信する

山口 洋 氏 [アトモスダイニング株式会社]

準特集

環境経営で企業革新を 2015同友エコ受賞企業発表!

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

月刊同友2月号 自立型企業づくり

はみだししポート

山口さんとは約10年前、福岡の飲食店の勉強会で出逢いました。

そして4年後、山口さんはその飲食店の勉強会の会長になり、会としての方向性や学びとなる仕組みを取り入れ、3年の任期で、人が集まる学び多き会に進化させました。

経営や人に苦しむ飲食店経営者の想いや現状を聞き入れ、理解し、必要な物や人材を紹介することで様々な経営者が助けられてきました。僕もその助けられた一人です。

そんな純粋に人のために動く人物なので、自分も今、山口さんが熱い想いで取り組んでいる同友会に入会させて頂きました。

人の想いを大事にし、人の考えを尊重し、人を信じ、人に任せていく。そして愛情を持って見守っていく経営だからこそ、人が育っていく。だから、組織が強くなる。会社は発展する。そして働く人達が夢や未来を描ける。

有限会社ウイナー 代表取締役

竹田 修司 (東支部)

これが近くで見えて来た僕に映る山口さんの在り方、生き方です。

ある経営者が「山口さんの背中が本当に大きく見える」と言いました。僕もその背中を見ながら、人として、経営者として、同友会として共に歩んで成長してきたいと思っています。



本誌p6掲載

アトモスダイニング株式会社
代表取締役
山口 洋氏 (東支部)



【今月の表紙】 撮影：富谷 正弘 (株)ココスイメージ(玄海支部)

アトモスダイニングさんで自立型企業づくりの取材をしている最中でした。元気のいい声とともにミーティングが始まり、スタッフが真剣な眼差しで、前日のスタッフの対応やお客さんの様子など感じたことを事細かに報告していました。ひとつひとつ丁寧に確認することで、改善できることがないかを常にスタッフさん同士で考えています。店長やリーダーから指示されたことをやるのではなく、常に考えて行動するスタッフのみなさんの姿勢に感銘を受けました。

いよいよ来月開催!

中小企業経営者フォーラム

「フォーラムの分科会はどれに参加しようかな?」

「どんな学びがあるか楽しみだ!」

と今からワクワクしている方も多いのでは。

来月に開催が迫った「福岡県中小企業経営者フォーラム」。

よりよく参加していただくため、

経営者フォーラム実行委員の笠置さんに

今回の特徴や取り組みを語ってもらいました。

あわせてオススメする各分科会のポイントを紹介します。

第26回福岡県 中小企業経営者フォーラム

開催日	2017年3月2日(木)
基調講演	13:30~15:20 ホテル日航福岡
分科会	15:40~18:30 ホテル日航福岡、大博多ビル、福岡朝日ビル
交流会	19:00~20:35 ホテル日航福岡
参加費	会員 基調講演・分科会のみ 1,000円 基調講演・分科会・交流会 6,000円 ゲスト 6,000円(交流会参加費を含む)

第1分科会

私たちはいつも、心の声に耳を傾けます

~私が考えていることがわかりますか?~



医療法人福田病院
院長
福田 秀一氏
(有明支部)

オススメポイント

スタッフが働きたいと思える! 過酷な医療現場を経験したからこそ語れる「人間尊重の経営」に注目!

「心の声に耳を傾けること」を法人理念とし、「スタッフに優しい病院」を目指す福田病院。そうなればきっと患者さんに優しくなれるという信念が、福田氏にはあります。過酷な勤務実態等、医療現場の大きな問題に直面した勤務医時代の経験から、福田氏は「スタッフが福田病院で働きたいと思うような病院にしたい」と改革に着手しました。リフレッシュ休暇の導入、子どもが3歳になるまでの産休・育休の100%達成、院内託児所の設置のほか、福田氏を取り組んだ様々な改革は、まさに「人間尊重の経営」の実践例を知ることができる分科会です。

更なる成長へと繋げていくために

フォーラム委員会 副委員長 笠置 重子

3月2日(木)の「第26回福岡県中小企業経営者フォーラム」開催まで1ヶ月となりました。

1年間の同友会運動と学びの集大成の場と捉え、皆様の企業、並びに経営者として更なる成長へと繋げていけるように学び合い、そして交流ではお互いに親睦を深め有意義な一日にしましょう。

本年度は参加者数800名、交流会参加者数600名とさせて頂いていただきました。また、本年度は、基調講演および交流会が「ホテル日航福岡」、分科会会場がアクセスのよい博多駅周辺の「ホテル日航福岡」「大博多ビル」「福岡朝日ビル」での開催と

なっています。

只今、貴重なお時間をいただき各地区行事、及び各支部へ参加のお願いに参っています。皆様が温かく迎えていただき役員の方から「頑張るけんね!!」と言ってくださることが何より嬉しく励みになります。参加申込のチケットは各支部でご購入をお願いいたします。

「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」をつくるため、おひとりおひとりの経験や知識を生かし合い学びを深め、そして交流会では愉しく語り合いたしましょう。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第2分科会

社長と社員の「信頼」が、危機を超えるちからに

~経営指針の実践と新卒採用が未来を拓く~



株式会社お掃除でつくるやさしい未来
代表取締役
前田 雅史氏
(中央支部)

オススメポイント

経営指針を考え中の方必見! 全社員が一丸となる経営指針の活用の仕方をお教えします!

働きたくても働けない女性たちのために時間制約のないシフト体制を導入。仕事にやりがいを求めるスタッフも増え会社は順調と思っていた矢先、経営危機に陥ってしまいます。この経営危機を乗り越えるために「経営指針発表会」を行い、文字通り全社一丸となり仕事に取り組みました。結果、発表から一年後、初めての新卒新入社員を採用することができ、業績も回復してきました。危機的状況を乗り越えることができた①経営者と社員の信頼関係の大切さ②「経営指針書」による全社一丸の組織づくりを報告します。

第9分科会

それでも中国に可能性はあるのか

～海外ビジネスを成功に導くための戦略、ネットワーク構築をするためには～



SAKO建築設計工社 代表者 迫慶一郎氏 (会外)

報告者の迫慶一郎氏は福岡出身の建築家、日本と世界の起業家をつなぐキーマンです。2004年北京にSAKO建築設計工社を設立。1万戸のマンション・人口2万人超の住宅開発プロジェクト「北京ピクセル」、福岡中洲の「どろんこ保育園」など、国内外で活躍。2016年に香港を発祥とした日本人起業家ネットワーク「和僑会」会長に就任・現職。「海外市場で成功するためのヒント」、「海外進出のためのネットワーク構築」について学びを深めて頂きます。

今、アジアが熱い！ 海外を視野に展望する方 成功のノウハウ学べます！

オススメポイント

当日はとことん 学び合いましょう！ お待ちしております！

第10分科会

食用廃棄物からのリサイクルビジネス

～ラーメンの残汁から燃料を！～



西田商運株式会社 代表取締役 西田 眞壽美氏 (東支部)

運送業を営む傍ら廃油から燃料ができないかと独自に研究開発。遂にラーメンの残汁をラードと汁に分ける油水分離器の開発に成功。再資源化された燃料で自社トラックの燃料コストの大幅削減を果たしました。今では自社以外にも燃料の販売を行い販路を広げています。石油が原料でないために黒煙がでず、原料が自然素材のため口にすることもできる「バイオディーゼル燃料」の苦勞の誕生から将来の夢を報告します。

発想に目からウロコ！ 新しい燃料にかけた経営者の 汗と涙の物語

オススメポイント

第7分科会

渡す者、引き継ぐ者の思い

～経営のバトンを渡すため・受けるため、いかなる知恵を発揮したか？～



株式会社彩 代表取締役会長 林田 達氏 (東支部)



富士食品株式会社 代表取締役社長 井上 明氏 (東支部)

日本の年間廃業社数約29万社。そのうち、後継者不在での廃業社数約7万社。それによる雇用の喪失は約20万人～35万人とされています。事業承継問題は、今や一企業だけでなく、国家的危機として大きな問題を投げかけています。事業承継の問題の背景には、渡す立場、受け継ぐ立場の視点のミスマッチが大きな原因としてあります。今回の報告者は渡す立場から、受け継ぐ立場から、それぞれの経験をもとに皆さんに問題解決法を提起します。事業承継が完了するまで10年から15年の時間が必要とされています。成功する事業承継のシナリオを共に考える分科会です。ご参加お待ちしております。

渡す者、継ぐ者 世代交代をチャンスに変える 両者の視点に必見！

オススメポイント

第8分科会

地域とともにきらめく街づくり・人づくり

～DIYリノベ・まちのお掃除ボランティア 若者呼び込む地域再生～



株式会社カンカングループ 取締役副社長 富山 博史氏 (大牟田支部)

経営危機や様々な問題に直面した富山さん。まずは危機回避のための「目標」を設定。その目標を指針セミナーで学んだ手法から一つ一つクリアしていったそんな折、日本創生会議から大牟田市は「消滅可能性都市」にリストアップされました。「自分が生まれ育ち、自身の子供が生まれ育つ街をなんとかしたい！」と、「地域と共に、きらめく街づくり、人づくり」という理念＝夢を掲げ、地域、まちの人々を巻き込みながら、夢・理念に向け少しずつ形になってきている過程を報告します。

私の企業でも活かしたい！ 地域とともに歩む中小企業の あり方を学べます

オススメポイント

第5分科会

「条例づくりで地域の未来を切り拓く」

～教育と企業づくりを軸にして～



愛媛県中小 企業家同友会 専務理事 鎌田 哲雄氏



NPO法人 家族支援フォーラム 理事長 米田 順哉氏 (愛媛同友会)

愛媛同友会では、人を生かす経営の総合実践を、「人を生かす経営を産学官報金労連携の枠組みで条例制定運動を通じて地域と企業で実践すること」と定式化し運動を展開し、その一つの到達点として松山市中小企業振興基本条例の「中小企業関係団体」の定義の中に全国で初めて「中小企業家同友会」が入りました。①振興条例ができるまでの経緯②愛媛同友会のキャリア教育の歴史と到達点③愛媛同友会は松山市中小企業円卓会議にどう関わったか④何のために条例制定・推進運動を進めているのかを報告頂きます。

この活動が未来に繋がる 条例制定・推進運動の 重要性がわかります

オススメポイント

第3分科会

我々でも設立可能！エネルギー会社！

～福岡にもあった！エネルギーシフトの実践事例～



中小企業家同友会 全国協議会 事務局長 平田 美穂氏



みやまスマート エネルギー株式会社 代表取締役社長 磯部 達氏 (会外)

中小企業家同友会では、全国的にエネルギーシフト運動を推進しております。平田美穂氏から「エネルギーシフト」の趣旨と概要、全国同友会における事例を紹介していただき、磯部達社長からは、みやま市における、自治体による家庭等の低圧電力売買(太陽光余剰電力買取・電力小売り)を主な目的として設立された日本初の事業会社について、設立から今までの体験をご報告いただきます。地域資源を生かして地域で価値を生み出し、地域の商人の手で産業振興へつなげていく。そこではじめて持続可能な地域が築かれていきます。中小企業が地域振興の主役であることを再認識します。

地産地消はエネルギーにも!? 事例をまじえるので分かりやすい エネルギーシフトのお話

オススメポイント

第6分科会

委員会活用で人を生かす経営の実践を

～パートナーであり大切な資源である社員を生かす経営とは～



株式会社すこやか工房 代表取締役 光本 智恵子氏 (東支部)

採用困難、人材不足があらゆる業種において大きな経営課題となっています。その課題解決の方策としてまず取り組むべきことは、現勢力の社員の自発性が発揮される状態を企業内に確立する努力が重要です。その企業風土づくりこそが採用時において選ばれる企業となる第一歩です。「人を生かす経営」の総合実践として、戦略的採用のポイント、共育の実践ポイント、障がい者問題の理解のポイント、経営指針書への反映のポイントが学べます。

人材採用に悩んでませんか？ 「人を活かす経営」を 委員会活用の視点で語ります

オススメポイント

第4分科会

原発被災地から立ち上がる若き群像

～地域とともに歩む...やがて燎原の火に～



株式会社小高ワーカーズベース 代表取締役 和田 智行氏 (会外)



松永牛乳株式会社 代表取締役 井上 緑也氏 (福島同友会相双地区)

東日本大震災より5年半。福島県では地震・津波・原発・風評被害の中から、ようやく復興に向けた歩みがスタートしました。厳しい避難生活を乗り越え、ゼロからスタートする復興、地域再生の中心となって活躍する若い経営者の血の滲むような戦いの日々とその思いや将来の夢を報告します。

東日本大震災から5年半... 経営者として乗り越えてきた 今の想いを語ります

オススメポイント



熱い想いを語る山口さん

福岡の食文化を世界中に発信する

独立支援制度で10000人輩出をめざす

アトモスダイニング株式会社
代表取締役
山口 洋氏

取材 文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 富谷正弘(玄海支部)

アトモスダイニング株式会社
創業 2002年12月
住所 福岡市中央区天神1-12-3
天神町木村家ビル3F(天神じゃんぼ)
電話 092-791-1794
従業員数 230名(うちパート・アルバイト170名)
HP-URL <http://atmos-dining.com>
事業概要 福岡市内を中心に居酒屋、焼肉店、イタリアン等を運営



自らの夢を叶えたように、独立志向の若者を世に送り出すことに尽力する経営者の報告です。

居酒屋に天職を見出す

今回の取材は居酒屋を25店舗展開しているアトモスダイニング(株)の代表取締役山口さんです。その業態は、海鮮料理・鉄板もつ炊き・焼肉・イタリアン・ピザバルなど多岐にわたっています。

まず、福岡を中心に熊本、さらにウラジオストック、ハワイ、エストニアに至ります。

山口さんは昭和43年北九州市八幡で生まれ、高校まで過ごしました。福岡大学に進学し2年の時に居酒屋でバイトを始めます。「その時にもうこれでメ

出店してみたものの

山口さんは大学時代の先輩と2人で福岡市中央区警固に15坪、その名も『目厨(男子厨房に:由来)』という居酒屋をオープンさせました。失われた10年とも20年とも言われた頃で、デフレの影響で低価格の居酒屋が過当競争をしていました。その中で苦戦を強

原点の『辛辛』スタート

その友人というのが、飲食店をやってみたくてノウハウがないので出資するからやってくれというものでした。時は2000年(平成12年)、2年後にサッカーFIFAワールドカップが日韓共催で開催されるといふ時期です。韓流ドラマはあるけれども韓国料理は不毛であると感じ、有会社社CALA CALAを立ち上げ、『韓国料理 辛辛』を博多駅前に出店しました。山口さんの思惑は的中し、店は倍々ゲームで伸びていきました。大名に2号店を出店、マスコミにも取り上げられ「予約の取れない店」として注目を集めました。2年半ほどで投資回収を終えたのでした。そこで2人は1店舗ずつ分け合うことにし、山口さんは大名店をもちょうことになりました。まさに山口さんの原点となります。

目覚めた一言

夢が叶った山口さんは、目標を失ってしまい遊び呆けていました。

を



そんな山口さんを見ていた右腕の高田茂さんに「社長、スタッフがみんな頑張っているんです。社長も真剣にやってください」と喝を入れられました。「ハッとしたね」と山口さんは言います。そこで心を入れ替え、稼いだお金を人財育成につぎ込もうと考えました。平成16年、社名をアトモスダイニング(株)に変更し、再スタートを切りました。「アトモスとは、アトモスファイアの略で『雰囲気』のこと。飲食店は料理はもちろんのこと、雰囲気が大事の思いを込めました」

持ち前のやる気を再燃させ、韓国料理主流に4店舗ほど増やしていきました。しかし韓国ブームにも陰りが見え始め、売上がジリ貧になってきたのです。多店舗展開で債務超過に陥りました。「コンサルの先生と相談してみました。私自身が切り盛りしていたのでは、5店舗が関の山。いただいたアドバイスを考えたことは『自分の分身をつくる』ということでした」

それまでのトップダウン方式を改め、スタッフが考えるような仕組みづくりを始めました。「スタッフのモチベーションが上がってきている実感がありました」

苦戦する中でも好調だった『辛辛』のライセンス契約を数件取付け、ピンチを切り抜けることができました。低迷店は業態を変え、高級志向から大衆酒場に切り替えるなどして業績は回復していききました。日本の市場は大きくならないことか

「自分の分身をつくる」ことは トップダウン方式ではなく スタッフ自身で考える仕組みづくり

シを食っていかうと決めました。大学を卒業して、飲食の経営を学ぶことを目的に、居酒屋・バー・デイスコ・寿司屋など35業態を展開するD社(大阪本社)に就職します。優秀な先輩との出会いに大いに刺激を受けました。そして夢を叶えるべく8年務めた会社を退職したのでした。

Ecology & Economy

環境経営で 企業革新を

2015同友エコ受賞企業発表!

環境に配慮した「環境経営」の促進と、産業構造の転換をふまえた新たな仕事づくりへの足がかりとして2009年にスタートした同友エコ。2015年4月～2016年3月の取り組みを募集した2015同友エコでは、全国から110社が応募し、うち38社がCO2排出量を約1,107トン削減しました。福岡同友会からは8社（事務局含む）が応募し、5社が賞を受賞しました。

同友エコとは？

環境方針に基づいた、環境活動・仕事づくり、省エネ・CO2削減（電気、燃料、水道）を進める取り組みです。各企業が1年間取り組んだ結果を中同協へ応募し、名古屋大学大

同友会の環境経営と同友エコの6つのポイント

同友エコに取り組むことは経営にも大きな利点があります。

ポイント① 経営指針的な側面から

環境経営は経営指針の実践そのものです！経営理念から環境方針計画を掲げてPDCAを回すことが必要となります。

ポイント② 組織体制の側面から

環境経営は社員全員の協力的体制が必要！社員教育、社内体制の整備につながります！コソコソと全員で成果を上げる必要がある面です。全社一丸体制のパロメーターになります。

ポイント③ 財務的側面から

環境経営によるコスト削減は、経常利益や純利益に直結！環境経営は財務体質の強化し、損益分岐点を下げることにもなります。

ポイント④ 企業の社会性の側面から

お客様や地域からの企業イメージをあげる側面も！企業の体質を強くするとともに、社会貢献、環境配慮、CSR（企業の社会的責任）で地域からの信頼が得られます。

ポイント⑤ エネルギーシフトの側面から

エネルギーや環境、省エネなどの技術開発であたらしい仕事づくりに繋がります。

ポイント⑥ 社員の福利厚生側の側面から

努力した成果としての削減の利益を社員に還元！全員で取り組んだ削減効果を社員の福利厚生に活用する会社も多数でてきています。



店内はきちんと準備されている

ます。

こうしてアトモスダイニンググループは店舗を増やしていきま

人財育成に注力

山口さんは、「自分の分身をつくること」とすなわち自分がそうだったように「独立志向の若者を世に送り出すこと」を考え始めました。「居酒屋大学」のようなものをイメージしていました。子会社に自立支援組織の会社をつくり社員教育に力を注ぎました。採用の際は理念の勉強などから入ります。昨年からはパーソナルトレーニングジムも始めました。

アルバイトが活き活き働ける環境であれば会社は活気づくと考えました。お客様に接しているのはアルバイトです。山口さんはその時間を「真実の瞬間」と呼んでいます。最高のモチベーションで働けるようにしています。「うちにはマニュアルというものは存在しません。常に現場でのミーティングを重視しています」

学生アルバイトが関心のある「就活塾」にも取り組んでいます。外部講師を呼んでエントリーシートの書き方や面接の受け方の講習を開いています。卒業する場合は後輩を紹介してもらいう制度も作りました（紹介料あり）。新卒採用にも取り組んでいます。平成28年度は6名、平成29年度は7名、さらに平成30年度は10名を計画して体制づくりしています。

独特の独立支援制度

新店舗をつくるに当たり、店長候補は山口さんと幹部の評価とともに面接をして決めます。物件は山口さんから幹部が探して決めていきます。そこに店長候補とマネージャーが二人一組となつて、その地域にあったコンセプト、店名、具体的企画を提出させます。「アトモスグループが様々な形態をしているのはそのためです。自分で考えるので愛着心や本気度が違います」

社内には、独立支援制度があります。投資回収の終わった店舗の営業権を独立希望のベテラン店長に渡す制度です。そして独立した際には、本部には家賃とレンタル料を払う仕組みで、レンタル料は4年目まで傾斜的に下がっていくので、独立者は資金余裕ができ、2号店の出店準備ができるようになっていきます。

山口さんは100年ビジョンを掲げています。めざすのは「福岡の食文化を世界中に発信すること」「1000人の独立者を輩出すること」と明記しています。

同友会との出会い

山口さんは、(株)フォーバルの創業者である大久保氏の「大久保秀夫塾2期生」で学びを深めました。経営指針書も作成し、理念を「サービスを通じて、常に唯一無二の価値（人財）を創造し続け、社員・家族・お客様・お取引様の心を豊かにしたい」としています。

社員の器を大きくしたい

取材の最後に山口さんが考える自立型企業についてお伺いしました。「どんな学んで社員の器を大きくしていくことをめざす会社でしょうか。自分たちで考えて行動するようになればそれは会社としても財産になっていきます。そして世の中に巣立って行ってほしいと思います」。ちょうど店の奥から気合の入った「朝礼」の若い声が響いてきました。

朝礼では前日に感じたことを共有する



外部審査委員賞

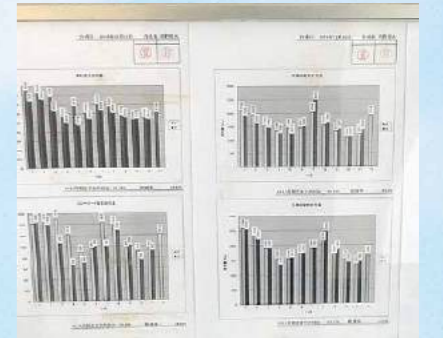
株式会社紀之国屋

より良い地球環境を実現するために、環境優良商品の普及や再利用・再資源化、省資源、省エネルギーを推進。太陽光発電・LED電球・オイルインバーターコンプレッサー・油水分離装置・集塵機・省電力機器の設置と販売しているほか、段ボール、カタログ等の排出物の削減などにも取り組んでいます。

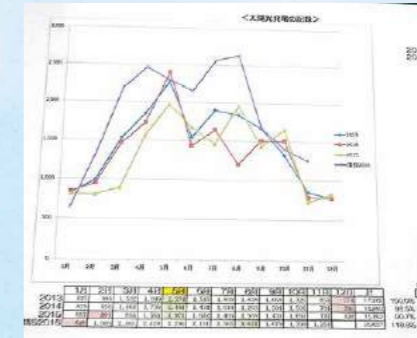
社内では使用量削減委員会、環境優良商品の管理部門、業務改善6S委員会などが中心となり会社を上げて環境経営に取り組んでいます。クールビズ、アイドリングストップ、エコカーやLEDの導入、太陽光発電の増設、地域での清掃活動など総合的に環境経営を実践していることが評価されました。



社外清掃



電氣使用量



太陽光発電の記録



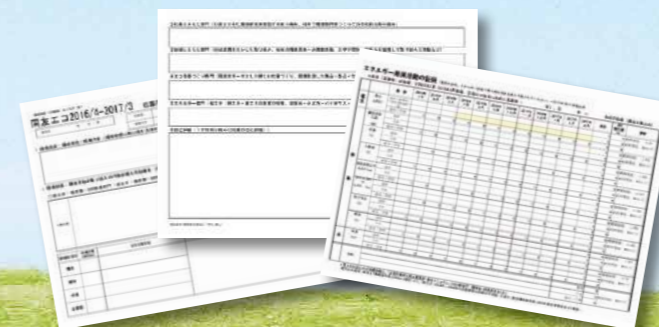
社内掲示



委員会を設置し環境経営に取り組んでいます

2001年6月14日にISO14001を取得以来、環境方針に基づき業務改善6S委員会・使用量削減委員会等を立ち上げ、社員一丸となりPDCAを継続してまいりました。これをご評価いただきまして社員一同大変喜んでおります。今後、なお一層の努力をする所存でございます。

(株)紀之国屋
代表取締役社長
中村 大志さん
(北九州支部)



同友エコの応募用紙
エネルギー削減記録など細かく項目が分かれています。

エコ仕事づくり部門

株式会社鐘川製作所

過去8年間、継続的に省エネ活動を行なってきており、省エネの意識が高まり、社員一人ひとりが省エネ活動に取り組んでいます。

省エネルギー化、資源の有効活用、廃棄物の削減とリサイクル化の推進、水使用量の削減、グリーン購入の推進、化学物質の適正管理を行なっています。また水産養殖関連機器の設計・製作を行っており、海洋汚染防止のための機器の開発や浄化装置の提案などを行ない、海洋汚染を減らすように取り組み、エコ仕事づくりに取り組んでいる点が評価されました。

特別賞 エコチャレンジ賞

株式会社すこやか工房

創業以来、地球環境を守るエコ活動を社員とともに実践しています。エコ活動を各自で意識的に行なえるよう「私のチャレンジ宣言」で自分が行なえるエコ活動をリスト化し、そのリストに基づき、毎月自分がどれくらいCO2の削減ができたかを集計しています。また、毎年社員の取り組んだ削減量で年間表彰を行うなど切磋琢磨して楽しく取り組んでいます。

そのほか、地域の清掃ボランティア活動、グリーンカーテン、裏紙使用、マイカップ・マイ箸、クールビズ・ウォームビズなどエコ活動にチャレンジしている点が評価されました。

CO2削減賞

株式会社大匠建設

17%削減の成功が評価されました。

事務局モデル賞

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会事務局

事務局内に職場環境改善委員会を設置し、委員会を中心に省エネなどに取り組み、CO2削減率も-19%となるなど継続した取り組みとともに成果も出ています。

紙使用量の削減とペーパーリサイクル、電気使用量の削減、クールビズ・ウォームビズの推進、ガソリン使用量の測定による燃料の削減、会員への理解を促し協力を求める点なども評価されました。

感謝! 同友エコ、事務局モデル賞
働く環境、生活する環境→生きていく環境の改善へ

この度は「同友エコ・事務局モデル賞」受賞を受け、驚き戸惑いつつも大きな喜びを局員みんなと共有しました。小さなチェックと記録、学びの継続が、いつしか大きな指標・指針となり改善へとむすびつくことを実感させられました。会社は常に「人材・技術生産型企業」であって欲しいと事務局は考えています(残念なことには昨今は真逆の人材・技術・資源消費型企業が横行していますが...)。これに加え「環境」というキーワードがますます必須肝要になっていくのだと、職場環境改善委員会の活動の意義を再確認し、気持ちも新たにに取り組んで参ります。

福岡同友会事務局
職場環境改善委員会
委員長 **田津 昌昭**さん



用紙をダンボールに入れて分別している



エアコン使用の注意書き
利用者に協力を呼びかけている



毎月1回ペーパーリサイクルに出している

2016年度 第8回理事会報告 (一部抜粋)

日時 2016年12月21日(水) 14時30分～17時30分
会場 福岡県中小企業振興センター 202会議室

出席 42名(出席率71.2%)
議長 貞池 龍彦(副代表理事)

協議事項

1. 2017年度予算策定にむけて

2017年度の予算策定にあたり、固定費を精査・算出し、各行事の活動費や地区・支部の活動費への配分を検討していくこととした。

2017年度の予算策定の流れとしては、1月の総務財政室、正副代表理事会、理事研修会にて決算見通しを立てて2017年度予算原案を出し、2月に2017年度予算の検討、3月理事会で2017年度予算の承認をすることを確認した。

審議事項

1. 2017年度役員選考

役員選考委員長より、2017年度の役員選考について本部長、室長、支部長が提案され、承認された。

2. 第55回定期総会の日程と会場について

会場手配の関係で、開催日を5月9日(火)に変更し、会場をANAクラウンプラザホテル福岡とすることが提案され、審議の結果、承認された。

確認事項

1. 福岡県内8信金の窓口

県内8信金の同友会向けの窓口対応表を確認した。

報告事項

1. 会員企業の動きなど(資料報告)

●経営革新計画承認企業 2016年11月
(県38社/うち同友会会員企業1社)
牛草 敏夫氏 (株)みらい(東支部)
〈テーマ〉販売管理システム構築によるリサイクルトナー事業を軸としたOA機器の販路拡大
※累計で福岡県全体では5,121件、会員企業は395件

●第2回100年企業顕彰(100年経営の会)
優良100年企業表彰
宇都宮 浩文氏 占部観音堂製菓(株)(東支部)

●平成28年度 ふくおか共助社会づくり表彰
～NPO・ボランティアと多様な主体が
知恵や力を持ち寄ったとりくみを紹介～
野田 久仁子氏 (特非)ドッグセラピージャパン
(北九州支部)
浦崎 浩之氏 (株)まつやホスピタリティ
(北九州支部)
〈テーマ〉障害者も参画するドッグセラピー活動

理事会報告全文は、e.doyuの文書管理
(理事会報告-2016年度)にアップしています。
会員の方は全て閲覧できます。

福岡県特定最低賃金の改定について ～福岡労働局からのお知らせ～

産業別の「福岡県特定最低賃金」が以下の通り改定されました。

産業別	改定金額
製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業	903円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	857円
輸送用機械器具製造業	880円
百貨店、総合スーパー	824円
自動車(新車)小売業	870円

効力発生日:平成28年12月10日から

特定最低賃金に該当しない産業は、福岡県最低賃金(1時間765円)が適用されます。

お問合せ先 福岡労働局労働基準部監督課賃金室 TEL 092-411-4578 FAX 092-411-2633

必ずチェック
最低賃金!

わが社のイノベーション



工事の様子(外観)



挽き板を
繊維方向が
直交するように
積層接着しています

大匠建設は恵子(エコ)に
会社があります



工事の様子



内部はこのような木の温かみがあります



現場見学会で説明をする井上さん

私たちが大匠建設は環境経営を主軸に「自然環境を守り 未来を創る」をスローガンとして営業活動を行っています。現在、自社ビル建築を環境に優しく高性能であるCLT工法で行なっています。

CLTとは直交集成板挽き板を繊維方向が直交するように積層接着したパネルです。特徴として厚みが確保できるため、強度や寸法・安定性・断熱性などを確保。工場加工できるため、工期短縮が可能です。また、コンクリートより軽いため、建物の軽量化が可能です。

日本の建築業界は海外の安い木材を大量に輸入した結果、海外では森林破壊、国内では林業は衰弱しています。森林は再生可能エネルギーで、植林・保育が進み、循環型利用が図られます。CLTによる建築は大量の木材を使用しそれを促します。今回は南九州産の杉材です。

CLTは今後の可能性を秘めており、これまで木材があまり使われてい

自然環境を守り 未来を創る 福岡県初CLT工法による新事務所ビル建築

なかつた中層・大規模建築物にも使用できる新しい素材です。優れた断熱性と準耐火構造で地震にも強く、高耐久性と防蟻処理を行い、100年以上も持ちます。

100年後の地球はどうなっているのでしょうか? 「私は生きていないから関係ない」などの発想していませんか? 今の時代の主役は誰でしょうか? 9.7%の経済を占める中小企業ではないでしょうか。今できることを、未来のためにできることをやる。この問題は社員との共通の問題です。100年後、CLT工法では解体するときに解体手順書があればきれいに解体でき、再利用ができます。未来に産業廃棄物ではなく、資源を残せるのです。

このように私が考えるよい経営環境をつくることの一つとして生活の半分以上の時間を過ごす事務所が、快適で災害に強く長く使える場所であることが大切です。社員とも話し合い未来に何を残せるか、その答えがCLT工法でした。

株式会社 大匠建設
DAISHO
筑紫郡那珂川町恵子1-18
TEL:092-953-3063 FAX:092-953-3164
事業概要:木造の新築・改装・マンションリフォーム・オリジナル家具製作・設計・施工
http://dai-sho.net

企業理念

日本の木造建築技術は、世界一高いと言われていています。私達はその技術をさらに磨き、また伝承していかなければなりません。昨今は、請負体制で厳しい状況が続いていますが、技術者としてのプロ意識・プライドを忘れず、本当にいい物を作っていくことが私達の責務と考えます。

福岡県初 CLT工法のご紹介
博多支部
井上 真一氏
Inoue Shinichi

株式会社 大匠建設(1990年設立)。培った精密な技術を活かし「建築部」を設置。設計・デザイン・施工・管理までを一貫して社内で行う。木造建築に特化し、「安心・安全な家づくり」を提供。



会員からの投稿

Voice

福博支部が創設30周年に 歴代支部長を迎え、にぎやかに記念例会

イルミネーションがきらめき、福岡市の中心街がクリスマス色に染まった昨年12月15日、福博支部は創設30周年を祝う記念例会を行いました。当支部は1986年、東支部から分かれる形で誕生し、創設当初73名だった会員数も最盛期には221名を数えるまでに成長。現在まで16人が支部長を務め、支部を牽引してきました。その支部長のなかからは、1995年から3年間、代表理事を務め、福岡同友会永久名誉会員であるやずやの元代表取締役、故・矢頭宣男さんを輩出しています。

当日は周年記念にふさわしく歴代支部長を迎え、60名を超える会員や元会員、当支部担当だった元事務局員さんらが参集。開会を待つ間、会場のあちこちで懐かしい顔との出会いをよるこぶ声が上がっていました。

記念例会は「三つの目的唱和」でスタート。歴代支部長の紹介に続き、鏡開き・乾杯が終わると会場はさらに和やかムードに包まれ、支部活動をまとめたDVD上映やモノマネ芸で知られる嘉飯支部会員・たけはるおさんによるステージで大いに盛り上がりました。

最後は次期支部長を務める山川輝樹さんが挨拶。支部の発展に寄与したいと力強く宣言し、博多一本締めで記念例会の無事終了を祝いました。

文・間々田正行(福博支部) 撮影・富谷 正弘(玄海支部)



歴代支部長を代表して挨拶する島川本店の久保陽子さん



歴代支部長による鏡開き



映しだされる昔の写真を見て懐かしむ参加者の皆さん

記念例会



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索